

地域人

vol. 24



「地域によりそって育む心」

ワークくわの木 かなぎライディングパーク 所長 大石 寿
(おおいし・ひとし)

今回の「地域人」は、「ワークくわの木 かなぎライディングパーク」所長の大石 寿さんをご紹介します。

平成7年から第三セクターで17年間運営した後、平成24年から、社会福祉法人いわみ福祉会が地域振興と福祉を兼ねて再スタートして5年目となります。

法人理念として、

- ・人として重んじられる施設づくり
- ・福祉や人についての誤った考え方を変えていきたい
- ・この人たちの持つ可能性を追い求め続けたい
- ・地域の必要性にこたえていきたい
- ・地域とのつながりを大切にしたい

の5つの願いを掲げてサービスを提供しています。

当施設は、一般のお客様が気軽に乗馬が楽しめる馬を15頭飼育しています。合わせて、一般乗馬の他に馬を使った「ホースセラピー」を実施しています。「ホースセラピー」は、調教された馬とのふれあいや、乗馬することで心の健康に効果をもたらすという心理療法で、発達障がいや、不登校や引きこもりの子どもさんから、自律神経失調症や不眠症、うつ病などの精神疾患にも効果があると考えられています。

最近では、膝などの下半身に負担をかけずに運動することができることから、肥満や糖尿病の運動療法などにも取り入れられ、「心理的」「教育的」「身体的」の効果が期待されています。学校に行けない、不登校の子どもさんは、本人も辛いでしょうが、親御さんも辛い。「ホースセラピー」が改善の一助になればと思います。

当施設は「就労継続支援A型」として、障がいを持っておられる13名の方を雇用しています。一般の事業所に雇用された経験を持つ方や、学校を卒業してすぐに一般の事業所で就労することが不安な方も働いています。与えられた仕事を淡々とこなすことではなく、犬ほど懐かず、猫ほど自分勝手でない馬という大きな生き物を相手に仕事をするところから、動物を通じて信頼関係を築くことを学ぶことができます。トレーニングが進めば、施設内にレストラ

ンもありますので、そこで接客業も行います。やがて働くことで地域に貢献しているという意識も芽生えてきます。

敷地内は、乗馬施設、焼き肉バイキングレストランの他にオートバイ神社もあり全国からたくさんのライダーが訪れ、観光の部分にも力を入れています。「浜田市は障がい者や人にやさしい街」という事をアピールしたいですね。「ホースセラピー」の可能性として、全国から障がいや心を痛めている方などが集う場の一つとして発展させていきたいですね。それが交流人口の増加、ひいてはUターン、Iターンに繋がれば、なお嬉しいですね。

～取材を終えて～

夢に向かって活動している方は輝いて見えます。大好きな馬に囲まれて、とても素敵な笑顔で丁寧に取材を受けてくださいました。今後も活躍をお祈りしています。

